



合同教育研究全道集会 2016



憲法公布 70 年、子ども・若者と平和な未来をつくろう

11

5

土

～

6

日

会場

札幌学院大学

●テーマ討論(仮題)

【5日 9:45～12:15】

- ①18 歳選挙権実現 ～あらためて問う「主権者教育」をどのようにすすめるか～
- ②特別支援教育 10 年 ～学び・生活を支える「つながり」とは～
- ③今、道徳教育に問われているものは
～道徳教育の現実と「道徳の教科化」をめぐる～
- ④学校、地域で「アイヌ民族」はどう教えられているのか
～遺骨返還の意義を考える～

●若者学習・交流企画

【5日 9:45～12:15】

みんなで学ぼう、語ろう「楽しい授業」「教師の生きがい」

●分科会

【5日 13:30～16:15/6日 9:30～15:00】

●教育の夕べ

【5日 16:30～18:30】

記念シンポジウム

「一人ひとりが大切にされる社会

～子育て・教育・暮らし

に息づく憲法を考える～」

明日の自由を守る若手弁護士の会

(あすわか) 共同代表



東北大学法科大学院卒、2009年弁護士登録。出産を機に「しばらくママ業に専念してみよう」と弁護士登録抹消。2013年1月に「明日の自由を守る若手弁護士の会」設立、共同代表。

黒澤 いつき さん 他シンポジスト3名

子育てのこと、学校のこと、みんなで話し合いませんか。「合同教研」は毎年、全道から子育てや教育にかかわる人々が集まって開催されている誰でも参加できる教育研究集会です。

平和を守り真実をつらぬく民主教育の確立をめざして

■主催 2016 合同教育研究全道集会実行委員会 ■連絡先・事務局(北海道高等学校教職員センター内)
〒060-0042 札幌市中央区大通西 12 丁目 TEL/011-231-0816 FAX/011-241-8510
HP/www.goken-hokkaido.jp

●分科会のご案内 分科会名 横の()内の数字は、各自で印刷・持参いただくレポート部数です。

1 国語教育 (40) <p>学習指導要領の改訂によって、改憲につながる愛国心・道徳教育が強調されています。平和教材等のあり方と指導法についての研究交流を進め、子どもに真の生きる力を育てる「授業づくり」を明らかにしていきましょう。</p>	7 書教育 (30) <p>小学生の毛筆指導から高校生の作品展示まで、幅広い参加者ニーズに応える分科会を目指しています。また、今年も書字指導に生かせるワークショップを行います。</p>
2 外国語教育 (40) <p>児童生徒の学力の実態、小学校を含めた外国語教育の現状、外国語教育の内容・方法などのレポートをもとに意見交流を積み重ねてきました。児童生徒、教員、授業の様子など幅広いレポートを通して幅広く交流し、研究・討議ができればと考えています。</p>	8 音楽教育 (40) <p>音楽は、人が豊かに生きていくために欠かすことのできない文化です。音楽の授業は、子どもと教師が教材を真ん中にして文化を育む場です。ささやかでも、普段着の実践を持ち寄り、語り、歌い、学び合いましょう。</p>
3 社会科教育 (60) <p>人格の完成をめざす教育を真に実現するために、歴史をしっかりと踏まえ、民主主義・平和・人権保障の実現を志向する未来の社会の担い手としての主権者を育てる内容・方法について考える場にしましょう。</p>	9 技術・職業教育 (20) <p>子どもたちの生活する社会でも、技術・職業教育に関わる問題が数多くあります。ブラックバイトをはじめとする労働問題など、身近な問題などを中心に数多くの実践を持ち寄り、学び合いましょう。</p>
4 数学教育 (70) <p>「わかる・できる・楽しい」数学の授業づくりを願う方、授業に関心を持たれる方に心地よい素敵な刺激に満ちた集いです。自由な雰囲気話し合い、見晴らしの良い数学と数学教育の世界を味わいませんか。</p>	10 家庭科教育 (30) <p>生命と生活の再生産にかかわる学習を担う家庭科は、子どもが直面する生活の困難にどのように迫り、何を提起していくべきなのでしょう。現在と将来にわたる生活の主人公を育てるため、大いに意見交換しましょう。</p>
5 理科教育 (40) <p>北海道の子どもが自然科学を豊かに学ぶことができるよう、授業づくり、実験教材やものづくり教材の開発、地域の自然の教材化について語り合いましょう。子どもがいきいきと活動して学ぶことができる授業をつくりましょう。</p>	11 保健・体育教育 (50) <p>保健・体育で求める本当の学力とは何か。子どもの現状を語り合い、いかに子どもの命や体を守り育てていくのか交流しましょう。また、食・健康・運動文化の主人公に相応しい力をすべての子どもに保障する教育を考えましょう。</p>
6 美術教育 (30) <p>豊かな情操を育む美術教育は子どもたちの人格形成に欠かすことができない学習活動です。この分科会では持ち寄った児童生徒の作品を囲み、より良い授業実践をめざして、その考え方や手法などを語り合います。</p>	12 総合学習・生活科 (40) <p>地域とともに学ぶこと、地域と関わる活動の有用性を確かめ合う教育実践が各地で実践されています。つながりをもとに学びを紡ぐ、総合的な学習・生活科の本質を語り合いましょう。</p>

<p>13 教育課程と子どもの学力評価 (40)</p> <p>安倍「教育再生」の押し付けに抗し、子どもたちの「学びたい」という願いに応える教育課程を、教職員・子ども・保護者・地域が力を合わせてつくっていくために、お互いの実践や思いを交流しましょう。(※16 分科会との一部合同開催を検討しています)</p>	<p>19 国民のための大学づくり (40)</p> <p>政府は大学入試制度改革を突破口に、高校と大学の教育を一挙に変えようとしています。「文系廃止」「職業教育大学の創出」などの政策がもたらす歪みを乗り越え、学問と青年期の発達保障のあるべき姿を探ります。</p>
<p>14 学校と家庭の生活指導 (40)</p> <p>学校現場を席卷するゼロトレランス・道徳の教科化、そして、貧困・格差が広がる社会の中で子どもたちの声を聞きとり、どのような「遊び」「学び」や生活指導実践が必要なのか探ります。</p>	<p>20 障害児・障害者の教育と福祉 (100)</p> <p>1日目は分科会全体で20年前の映画「学校Ⅱ」に描かれた世界が現在の青年期の教育にどうつながっているかを検証します。2日目は1/7~1/8に札幌で開催される全国学習交流集会も視野に実践レポート検証を行います。</p>
<p>15 教育条件確立の運動 (30)</p> <p>ゆきとどいた教育の実現には、「人・物・予算」の裏付け、すなわち教育条件整備が不可欠です。教育予算や教育費負担、学校統廃合、教職員定数増と労働条件改善など、切実な課題について学び、語り合しましょう。</p>	<p>21 環境・公害と教育 (30)</p> <p>公害問題から出発し、自然・環境問題、学校での自然保護教育・環境教育のあるべき姿を探ってきました。地震災害、原発再稼働に関連し、エネルギー政策、放射性廃棄物問題、防災教育などについても議論しましょう。</p>
<p>16 子ども、父母参加の学校づくり (40)</p> <p>教職員や保護者、地域の共同、子どもたちの学校づくりへの参加について交流、学び合しましょう。また、様々な課題をかかえる子ども達の実態や学校現場の実態についても、じっくりと語り合しましょう。(※13 分科会との一部合同開催を検討しています)</p>	<p>22 平和・憲法、人権・民族と教育 (60)</p> <p>今世界に誇る「平和憲法」の「改悪」が具体化しようとしています。これに対する実践と理論を学びあいましょう。また、近現代のアイヌに関する歴史を学び直し、アイヌ民族についての教育の新しいあり方を考えましょう。</p>
<p>17 地域における子育て・学習運動 (40)</p> <p>現代は多様な家族が増え子どもの生活にも大きな変化が見られます。子どもが生き生きと育つ地域環境を大人と子どもの協同活動でどのように作るかが問われています。PTA活動、若者たちの地域づくり参加等、地域での実践報告から学び交流しあいます。</p>	<p>23 子ども・青年の発達と教育 (100)</p> <p>子ども期・青年期は最も多感で豊かな成長と発達が保障されるべきです。しかし、今の政権と財界はその「学び」より自分たちの路線に従順な「人材」づくりに狂奔しています。「人が育つ」の議論を通し深めましょう。</p>
<p>18 地域と学校の文化・スポーツ活動 (30)</p> <p>子どもたちを人間的に成長させる上で、文化・スポーツ活動は大きな役割を担っています。しかしながら、そこには様々な課題や困難な状況があることも事実です。奮闘されている方々の実践をもとに、その解決に向けて、みんなで話し合しましょう。</p>	<p>24 不登校・登校拒否・高校中退 (50)</p> <p>「少子化傾向にもかかわらず、不登校は増加傾向」の見出しで文部科学省の学校基本調査が発表されました。実態は深刻です。解決の方向を学校現場の報告、全道の支援団体の活動、親の会の活動の紹介等で交流しましょう。どなたの参加も歓迎です。</p>

ごあんない

子どもを中心にした 教育・学校を！



●ともに学び・語り合きましょう

合同教育研究全道集会は、「平和を守り真実をつらぬく民主教育の確立をめざして」、1976年の第1回開催以来、道内の教育関係者、父母、道民が集い、今年で41回目の歴史を積み重ねてきました。合同教研につどい、子どもたちの未来と憲法と子どもの権利条約が息づく学校と社会を築くためにどうしたらよいか、ともに学び、語り合きましょう。

- 「教育のタベ」は参加費 500 円が必要です
- 会場には保育所を用意しています。申し込み、お問い合わせは事務局へお願いします
- 障がいを抱えられている方の参加は、会場準備の関係上あらかじめ事務局へご連絡ください
- 昼食は学食、または学校生協の売店（日曜日は休み）をご利用ください

●会場案内 札幌学院大学（江別市文京台11）



- ◇JR を利用した場合
札幌駅（江別方面行）⇒大森駅（徒歩10分）
- ◇バスを利用した場合
新札幌バスターミナル発（JRバス・タ鉄バス）
⇒学院大正門前、または北翔大学前・札学院大前



●レポート参加される方へ

1. 教職員の日々の実践や子ども、教育の様子など簡単なものでかまいません。
2. レポート参加する場合、各合研加盟団体を通じて合研事務局へ連絡してください。（10/14まで）
加盟団体以外のレポート参加は、合研HPに掲載の「エントリーシート」で報告してください。
3. レポートの作成方法・注意事項
 - ・レポートはA4版で表紙には「テーマ」「分科会」「所属・氏名」を明記してください。
 - ・レポートは各自が印刷して持参ください。（部数はリーフの分科会名横の「レポート部数」参照）
 - ・プライバシー侵害の恐れがありますので、実名記載は避け個人が特定されないようご配慮ください。
 - ・レポートの「非公開」を希望する場合、表紙に朱書きで「非公開」と明記してください。
 - ・レポート発表に使用する機材は、必要最小限でお願いします（発表時間等を考慮の上、どうしても必要なもの）。必要な場合、あらかじめ事務局へお申し出ください。
4. その他詳細については、合研HP www.goken-hokkaido.jp をご覧ください。